

平成23年度事業所母集団データベース研究会（第1回）議事概要

- 1 日時：平成23年7月11日(月) 16:00~18:00
- 2 場所：総務省統計局6階 特別会議室
- 3 議題：(1) 今年度の研究会の進め方等について
(2) 年次フレームの作成方法について
(3) 統計調査結果及び行政記録情報の収録に向けた取組について
(4) その他
- 4 出席者：清水座長、廣松委員、森委員、菅委員
統計調査部長、統計情報システム課長、調査企画課長、経済基本構造統計課長
統計局・政策統括官室・統計センター職員

5 議事概要：

事務局より資料に基づき説明を行った。主な意見等は以下のとおり。

(1) 今年度の研究会の進め方等について

→ 今年度の研究会においては、DBの運用管理規程の作成、統計調査結果・行政記録情報の照合・収録方法の確立、レジスター統計の作成方法の検討等を主な検討課題とし、検討を進めることとする。

(2) 年次フレームの作成方法について

→ 年次フレームは、従来の名簿と比べて画期的である。今後、統計調査結果の収録やプロファイリングにより情報を精査・更新していく中で、異常なデータを発見し、確認するための仕組みについても検討する必要がある。

→ 年次でフレームを提供するというサイクルの維持が重要であり、各種情報の照合や収録については時間的制約を前提として実施方法を検討すべきである。

また、年次フレームはその時点で得られている各種情報に基づき作成・提供するもので、遡及修正を必ずしも前提としないのではないか。

(3) 統計調査結果及び行政記録情報の収録に向けた取組について

→ 統計調査結果によるDB情報の更新に当たり、年次でフレームを提供していくことを考えた優先順位の付け方等について検討する必要がある。

→ 労働保険情報は、商業・法人登記情報に比べて実際の活動状態を反映している可能性が高く、大きな利用価値があると考えられる。その利活用の可能性についてさらなる検討が必要である。

6 次回開催予定：第2回研究会を9月に開催予定